みんなの文芸

俳句・短歌を募集
4日必着
作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記してみらい創造課までお寄せください。
1人1句、1首に限ります。

俳句 榎本順江 選　投稿数 16 句

着膨れて待合室の秩父弁　下田野　新井　節子

(評)病院の待合室は皆静かに順番を待っていますが、誰かが話しだしました。「まさかさみいねえ」「うんと着こんで来たんさあ」着膨れ同士が気取りない秩父弁で近況やら具合の悪さやら。待ち時間も苦にならないかも。待合室の様子が上手く句になりました。二句目、山陰の崖などに出来た氷柱。触れて見たい程きれいです。腕白な子供達は楽器に見立て、ドレミファと端から叩いて楽しそう。氷柱の折れる音や子供達の様子が伝わる秀句です。三句目、書初めは自分の好きな句を、多分数多い自作の中から選んだものでしょう。飾って見ると余計良い句に見えます。作者はお元気な九十代。肖りたいです。

ドレミファと氷柱叩く腕白等　三沢　野澤　麻子

「秩父紅」花も名も美し福寿草　皆野　引間　千鶴

短冊に好みの一句筆初め　三沢　新井　叶子

氏神に家例を繋ぐ太き注連縄　皆野　根岸　詩子

受験までつのる不安や冬銀河　皆野中　太幡琉美花

除夜の鐘無病と加え日記閉づ　国神　藤原マキ子

遥かなる山垣澄みて春浅し　皆野　萩原　初恵

闘病の媼の微笑や寒桜　下日野沢　小原　和夫

藪まさに声の固まり寒雀　三沢　新井　民子

墓碑さがす聖地公園冬温し　三沢　眞下　杏子

短　歌（投稿順）

夜祭りの朝一面に真っ白く厚化粧してお日様を待つ　下日野沢　太幡　喜一

飛行機が雲一つない空分かつ長く尾を引き天気占う　皆野　大澤　貴夫

人生の未知の日日あり新暦心祝いて明日へ繋ぐ　三沢　新井　民子

雲ひとつ無き中天に煌めける師走の満月惜しみ佇む　三沢　新井　叶子

この身にもプレゼント来し聖誕祭レナード彗星夕空に浮く　皆野　打木　昭廣

黒澤が目を赤くして近づいて何も言わずに寄り添ったのサ　皆野　石原　達也

ふきのとうそろそろかなと目を凝らす睦月つごもり陽だまりの土手　皆野　萩原　初恵

幹下の玉葱の芽は伸び伸びてたくましきかな冬空の下　国神　藤原マキ子

数え日や離れ住む子が嫁と来て注連替えくれるわれ綯う縄で　三沢　眞下　杏子

友等々と羽根つき遊び凧上げと昭和の正月今懐かしき　下日野沢　浅見　豊子

人生を生きる地図なし目標を恩師の長寿にあやかり歩む　皆野　根岸　詩子

年明けて直ぐに八十路になる私星を見上げて父母に報告　下田野　新井　節子

元旦の真青の空嶺黒く安全祈願風に押されて　皆野　戸塚喜久雄

白き富士背にして走る若者に箱根の旅を思い出す今　皆野　村田ハツ代

小学の卒業祝し賜りし恩師の言葉友の座右に　皆野　櫻井　早苗

体育館デモクリトスの考えを語る博士の声淡々と　皆野中　太幡琉美花

をちこちに落ちし髪の毛目に付くや薄毛に怯ゆ加齢に怯ゆ　皆野　引間　万亀

1歳になる赤ちゃんを募集しています

ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生月の前月10日までに、みらい創造課窓口(写真をご持参ください)または、町ホームページからお申し込みください。

3月号の締め切りは、2月10日(木)です。

問合せ みらい創造課　政策推進担当
☎26-7334

今月の題字

皆野小4年
倉林　琴音さん

児童の見守り放送

皆野小1年
井上　千代さん